

地元企業の魅力知って

出雲西高校でガイダンス

出雲市下古志町の出雲西高校（永島弘明校長）で14日、地元企業ガイダンスが開かれた。1年生195人が



参加して、各企業担当者（永島弘明校長）の話に耳を傾け、理解を深めた。同校と県商工労働部雇用政策課の主催。出雲地区雇用促進協議会の共催。

同校では例年、生徒の約4割が就職、約6割が進学を選ぶ。就職先の選択や、進学先を卒業後の就職先を考える参考にしてもらおうと、昨年、地元企業ガイダンスを開いている。

この日は、建設業や製造業、卸・小売業など30社が参加。各企業が設けたブースでは、担当者が映像や資料な

地元企業の担当者から話を聞く生徒たち14日、出雲市下古志町の出雲西高校

どを使い、会社概要や特色、やりがいや、求める人物像などについて説明。生徒たちは、各自が希望した企業を含む4社を、20分ずつ回って話を聞いたり、積極的に質問したりしていた。

参加した米山瑞起さ

ん（16）は、「会社によつていろいろな個性があるのだと分かりました。担当者から直接話が聞けて、参考になりました」と話していました。